

兵庫ジャーナル

The Hyogo Journal

発行所©株式会社 兵庫ジャーナル社

〒650-0011神戸市中央区下山手通4丁目6-13(ファインコート下山手6F)

電話 神戸(078) 333-7560 FAX 神戸(078) 333-7563

http://www.hyogo-j.co.jp E-mail:info@hyogo-j.co.jp 購読料1ヵ月2,800円(税込)

県立南但馬
自然学校

山崎高生徒73人が伐採、草刈り

酷暑での頑張りに感嘆の声

県立山崎高校(原田尚昭校長)の森林環境科学科では、8月に計4回にわたって朝来市の県立南

但馬自然学校(服部保校長)を訪れ、敷地内の森林整備などに取り組んだ。酷暑の下、厳し

い作業となったが、同自然学校は生徒たちの努力と頑張りに感嘆の声をあげている。

同高校と自然学校の連携事業で、校外実習として平成24年度から実施しているもの。森林環境科学科は林業や森林環境など



自然学校は標高756mの朝来山北斜面に位置する、約92haという広大な敷地面積を持つ施設。小学5年生が4泊5日以上で実施する自然学校の

中核・専用施設で、年間約3万8千人が利用する一方、安全安心を確保するための環境整備などにも力を入れている。

今回は、同高校の1年と3年の延べ73人が参加。自然学校の期間外となる夏休みを利用し、芝生広場や雨乃宮の池周辺の森などで草刈りや除伐、せん定などを展開。約12haの伐採した木の枝を払い、4ha単位に分けて車に載せるまでを生徒が行い、2トトラック3台分を積み込んだという。

実習を終えて、自然学校の藤原良光副校長は「暑い中での作業は本当に大変そうだった。この頑張りを今後も生かして、ぜひ1人でも多くの生徒が兵庫県の森林を守る仕事についてくれたら」と話している。